

- 1 平安時代に、地方に赴任せずに京に留まったまま役職だけを持つ国司のことを何という？
- 2 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？
- 3 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？
- 4 794年、奈良の平城京から都を現在の京都へ移し、新しい都を建設した天皇は誰？
- 5 平治の乱で勝利し、武士として初めて太政大臣に任命された人物は誰？
- 6 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？
- 7 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？
- 8 平安時代に発達し、日本の物語文学が発展するきっかけとなった、日本語の音を書き表す文字を何という？
- 9 平安時代に唐から帰国し、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧は誰？
- 10 国風文化のなかで、漢字を簡略化して作られた文字を何という？
- 11 「この世をば わが世とぞ思う…」と詠み、当時の絶大な権力を誇示した人物は誰？
- 12 894年に菅原道真の意見で停止され、その後の国風文化の発達につながった、中国へ使節を送る制度の停止を何という？
- 13 平安時代中期、天皇の后を出すことで政治の実権を握った代表的な一族は誰？
- 14 平安時代中期、貴族の邸宅として発展した日本独自の建築様式を何という？
- 15 『源氏物語』を書き、平安時代の国風文化を代表する女性作家は誰？
- 16 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？
- 17 平安時代、父・道長の別荘を寺院に改め、宇治に平等院鳳凰堂を建立した人物は誰？
- 18 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？
- 19 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？
- 20 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？
- 21 平安時代に宮廷の出来事や自然の美しさを短文でつづった、日本最古の随筆を著した女性作家は誰？
- 22 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 23 平等院鳳凰堂などの建築に影響を与えた、阿弥陀仏にすがる信仰を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>逢任</u> （ようじん）は、国司が自らは現地に行かず、代わりに代官である「目代（もくだい）」などを派遣して統治させる形態です。		<u>逢任</u>	☐
2	<u>随筆</u> （エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。		<u>随筆</u>	☐
3	<u>藤原道長</u> は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。		<u>藤原道長</u>	☐
4	<u>桓武天皇</u> は、こうした古くからの仏教勢力の強い影響を断ち切り、天皇中心の強力な政治を行うために遷都を断行しました。		<u>桓武天皇</u>	☐
5	<u>平清盛</u> は、平治の乱で源義朝を破って政権を握りました。		<u>平清盛</u>	☐
6	894年、朝廷で活躍した菅原道真の建議により、遣唐使の派遣は停止されました。		<u>遣唐使の廃止</u>	☐
7	<u>真言宗</u> は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。		<u>真言宗</u>	☐
8	<u>かな文字</u> は、漢字の一部を省略したり、崩したりして作られた文字体系です。		<u>かな文字</u>	☐
9	<u>最澄</u> は、唐に渡って天台の教えを学び、日本に帰国して比叡山に延暦寺を建立しました。		<u>最澄</u>	☐
10	<u>仮名文字</u> は、漢字の形をくずしたり、その一部を抜き出したりして作られた文字です。		<u>仮名文字</u>	☐
11	<u>藤原道長</u> はこの戦略を最大限に活用しました。		<u>藤原道長</u>	☐
12	894年の <u>遣唐使廃止</u> によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。		<u>遣唐使廃止</u>	☐
13	<u>藤原氏</u> は、自分の娘を天皇に嫁がせて生まれた子を次代の天皇にすることで、天皇の親戚（外戚）として権力を振るいました。		<u>藤原氏</u>	☐
14	国風文化は、仮名文字の普及による文学の発展や、独自の美的感覚を反映した建築、絵画（大和絵）などが特徴です。		<u>寝殿造</u>	☐
15	<u>紫式部</u> は、藤原道長の娘に仕えながら、『源氏物語』を執筆しました。		<u>紫式部</u>	☐
16	<u>藤原道長</u> は、娘たちを次々と天皇や皇太子の後とすることで、揺るぎない地位を築きました。		<u>藤原道長</u>	☐
17	<u>藤原頼通</u> は、権力の絶頂期にあった藤原道長の息子です。		<u>藤原頼通</u>	☐
18	<u>藤原道長</u> はその摂関政治の頂点に立った人物です。		<u>藤原道長</u>	☐
19	<u>紫式部</u> は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。		<u>紫式部</u>	☐
20	<u>空海</u> は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。		<u>空海</u>	☐
21	<u>清少納言</u> は、中宮定子に仕える中で見聞したことや、四季の美しさなどを鋭い観察眼で書き記しました。		<u>清少納言</u>	☐
22	<u>東北地方</u> には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとした。		<u>東北地方</u>	☐
23	<u>浄土信仰</u> は、「南無阿弥陀仏」と唱えることで、死後に阿弥陀如来のいる極楽浄土へ生まれ変わることができるという教えです。		<u>浄土信仰</u>	☐

言えなかった用語ノート